

キリスト教委員会のHP(<http://rakuno-ce.org>)にアクセスして事前に聖書や讃美歌の確認をしましょう

ことができずにきてしまった人もいるかもしれません。パウロも決して順風満帆だったわけではありません。裏切り、迫害、投石、鞭打ち、投獄、難破、強盗、飢餓、猛獣の難、死への直面、晩年は獄中で過ごし、最後はローマ帝国によって処刑されてしまったのです。しかし、このような艱難を経験したパウロが、後ろ向きにならずに、前のめりとも言えるほどの姿勢でいることができたのは、彼が明確な目標を持っていたからです。目標は生きる力を与えてくれます。みなさんも、この1年を振り返りつつ、改めて自分自身の目標を定め、「目標を追い続ける」生き方をしてください。

#### 【2018年度の感謝】

2018年度も学内外の多くの方々に大学礼拝にご協力いただき、本日無事に最終礼拝を迎えることができました。奏楽の佐藤先生、讃美指導の相原先生、聖歌隊、合唱団、室内楽団、吹奏楽団、音響チーム、学務課、教務課、入試広報センター、キリスト教委員会、そして学生と教職員のみなさんに感謝申し上げます。2019年度もよろしく願いいたします。

《創作舞踊「プチェチュム」(扇の舞)》  
(CCCによる特別プログラム)

#### 【CCCの学生たちとの交流】

前回の大学礼拝は韓国のCCCの学生たちによる特別プログラムでした。礼拝後の茶話会では、本学と韓国の学生たちが一緒になり、楽しい時間を過ごせました。今回は教務課、学生課、入試広報センターのスタッフに特にお世話になりました。感謝申し上げます。今後は国際交流の機会として、学生同士が交流できる場所作りもしていきたいと考えています。



#### 【次回の大学礼拝】2019年4月16日(火)10時40分

次回の大学礼拝は2019年度の第1回目の礼拝となります。新入生が入ってきますので、最初は少し混み合いますが、引き続きご出席くださることを期待しています。

#### 【前回の大学礼拝】2019年1月8日

学生133名 教職員ほか34名 合計167名

## 【大学礼拝週報】 2018年度 第30号 (後学期第15号)

2019年1月22日(火) 午前10時40分

酪農学園大学 黒澤記念講堂

《大学礼拝》

司 式 小林昭博 (宗 教 主 任)  
奏 楽 佐藤理恵 (野幌教会会員)  
讃美指導 相原晴伴 (循環農学類教員)

前 奏 「我に来たれ」(J. C.バッハ作曲)  
讃美歌 酪農讃歌  
聖書 フィリピの信徒への手紙3章12-14節  
祈り  
さんび 酪農学園大学聖歌隊  
奨励 「目標を追い続ける」 小林昭博  
報告  
讃美歌 讃美歌第二編 157番 (この世のなみかぜさわぎ)  
後 奏 「強き王なる主をほめまつれ」(ツイップ作曲)

#### 【本日の聖書】フィリピの信徒への手紙3章12-14節

12わたしは、既にそれを得たというわけではなく、既に完全な者となっているわけでもありません。何とかして捕らえようと努めているのです。自分がキリスト・イエスに捕らえられているからです。13兄弟たち、わたし自身は既に捕らえたとは思っていません。なすべきことはただ一つ、後ろのものを忘れ、前のものに全身を向けつつ、14神がキリスト・イエスによって上へ召して、お与えになる賞を得るために、目標を目指してひたすら走ることです。

#### 【奨励】「目標を追い続ける」

本日は2018年度の最終礼拝です。本日出席している人のなかには、前学期15回+後学期15回=合計30回の全ての礼拝に出席しようという目標を立て、見事それを成し遂げた人もいます。フィリピ3:12-14において、パウロは現状に甘んじることなく、目標を追い求めて前進し続ける生き方を証ししています。みなさんにも、入学時に抱いていた目標があるのではないのでしょうか。その目標に到達するために、この1年間も努力を惜しまなかったという人もいますが、やる気スイッチを押す